

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年3月25日まで（2011年4月8日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	メキシコ・ペソ建のソプリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）および準ソプリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）
運用方法	メキシコ・ペソ建のソプリン債券および準ソプリン債券を主要投資対象とし、残存期間の異なる債券に分散して投資を行います。	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・ソプリン債券以外への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ソプリン債券以外への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際 メキシコ・ペソ債券オープン （毎月決算型）



第91期（決算日：2018年10月25日）
 第92期（決算日：2018年11月26日）
 第93期（決算日：2018年12月25日）
 第94期（決算日：2019年1月25日）
 第95期（決算日：2019年2月25日）
 第96期（決算日：2019年3月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）」は、去る3月25日に第96期の決算を行いましたので、法令に基づいて第91期～第96期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
67期(2016年10月25日)	6,680		60	10.8	94.8	—	302
68期(2016年11月25日)	6,210		60	△ 6.1	93.9	—	298
69期(2016年12月26日)	6,405		60	4.1	95.8	—	310
70期(2017年1月25日)	5,898		60	△ 7.0	82.3	—	370
71期(2017年2月27日)	6,334		60	8.4	95.3	—	435
72期(2017年3月27日)	6,580		60	4.8	92.7	—	537
73期(2017年4月25日)	6,479		60	△ 0.6	95.7	—	527
74期(2017年5月25日)	6,643		60	3.5	93.2	—	616
75期(2017年6月26日)	6,917		60	5.0	96.0	—	598
76期(2017年7月25日)	6,958		60	1.5	95.5	—	445
77期(2017年8月25日)	6,859		60	△ 0.6	96.4	—	489
78期(2017年9月25日)	7,005		60	3.0	96.5	—	495
79期(2017年10月25日)	6,428		60	△ 7.4	93.5	—	534
80期(2017年11月27日)	6,495		60	2.0	95.0	—	580
81期(2017年12月25日)	6,052		60	△ 5.9	92.7	—	511
82期(2018年1月25日)	6,265		60	4.5	96.2	—	522
83期(2018年2月26日)	6,055		60	△ 2.4	94.7	—	544
84期(2018年3月26日)	5,974		60	△ 0.3	94.0	—	477
85期(2018年4月25日)	6,050		60	2.3	94.3	—	466
86期(2018年5月25日)	5,790		60	△ 3.3	92.6	—	471
87期(2018年6月25日)	5,612		60	△ 2.0	96.0	—	483
88期(2018年7月25日)	6,021		60	8.4	95.8	—	457
89期(2018年8月27日)	6,007		60	0.8	92.6	—	390
90期(2018年9月25日)	5,989		60	0.7	95.9	—	382
91期(2018年10月25日)	5,675		60	△ 4.2	96.1	—	346
92期(2018年11月26日)	5,375		60	△ 4.2	94.2	—	342
93期(2018年12月25日)	5,370		60	1.0	94.8	—	348
94期(2019年1月25日)	5,632		60	6.0	95.1	—	362
95期(2019年2月25日)	5,668		60	1.7	95.3	—	364
96期(2019年3月25日)	5,654		60	0.8	95.6	—	437

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第91期	(期 首) 2018年9月25日	円 5,989		% —	% 95.9		% —
	9月末	6,088		1.7	95.3		—
	(期 末) 2018年10月25日	5,735		△4.2	96.1		—
第92期	(期 首) 2018年10月25日	5,675		—	96.1		—
	10月末	5,544		△2.3	95.4		—
	(期 末) 2018年11月26日	5,435		△4.2	94.2		—
第93期	(期 首) 2018年11月26日	5,375		—	94.2		—
	11月末	5,437		1.2	92.7		—
	(期 末) 2018年12月25日	5,430		1.0	94.8		—
第94期	(期 首) 2018年12月25日	5,370		—	94.8		—
	12月末	5,478		2.0	95.4		—
	(期 末) 2019年1月25日	5,692		6.0	95.1		—
第95期	(期 首) 2019年1月25日	5,632		—	95.1		—
	1月末	5,586		△0.8	94.6		—
	(期 末) 2019年2月25日	5,728		1.7	95.3		—
第96期	(期 首) 2019年2月25日	5,668		—	95.3		—
	2月末	5,680		0.2	94.7		—
	(期 末) 2019年3月25日	5,714		0.8	95.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

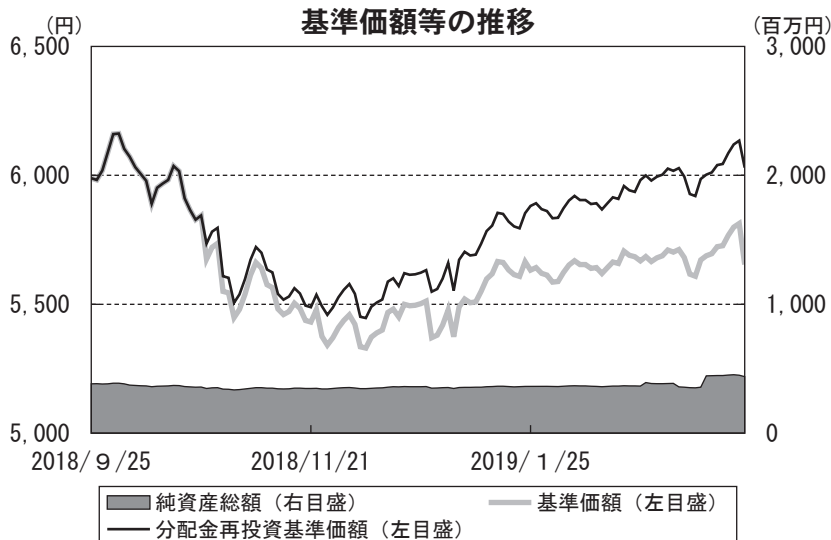
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第91期～第96期：2018/9/26～2019/3/25）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有債券の利息収入を得られたことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	メキシコ・ペソが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第91期～第96期：2018/9/26～2019/3/25）

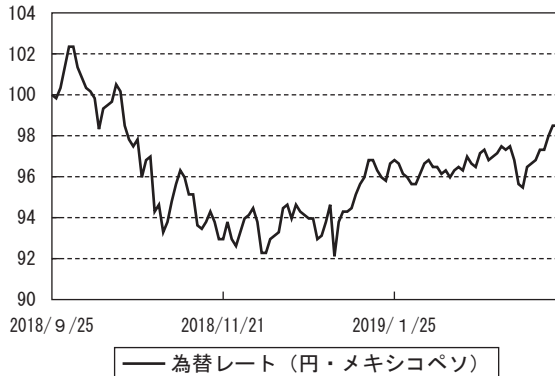


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・メキシコの債券市場では、金利は低下しました。2018年11月にかけては、インフレ見通しの悪化などを背景に中央銀行であるメキシコ銀行が利上げを実施したことなどから、金利は上昇しました。その後は、世界景気の減速懸念等を背景に米国で政策金利引き上げが当面停止するとの観測が高まり、新興国全般に対する投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから金利は低下に転じ、当作成期を通じてみると金利は低下しました。

為替市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

・メキシコ・ペソは対円で下落しました。2018年10月にかけては、ロペスオブラドール次期大統領が、国民への意見調査結果を受けて、メキシコシティ空港の代替施設の建設を中止すると発表し、今後の政策運営に対する懸念が高まったことなどから、メキシコ・ペソは対円で下落しました。その後、米国の利上げ観測の後退などを背景に投資家のリスクセンチメントが改善したことなどからメキシコ・ペソは対円で上昇に転じたものの、当作成期を通じてみると下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

＜国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）＞

- ・メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

＜メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.0%の上昇となりました。
- ・メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。以下同じ。）、準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。以下同じ。）を主要投資対象として、これらの債券を高位に組み入れ、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行いました。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざしましたが、債券の発行状況等により同額程度とならないこともありました。
- ・前記の運用を行った結果、メキシコ・ペソが対円で下落したことが基準価額にマイナスに影響したものの、保有債券の利息収入を得られたことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

残存期間別組入比率

残存期間	作成期首 (2018年9月25日) 比率	作成期末 (2019年3月25日) 比率
0～1年	10.3%	11.7%
1～2年	21.8%	12.1%
2～3年	11.1%	11.7%
3～4年	11.1%	12.2%
4～5年	—	11.7%
5～6年	10.4%	12.2%
6～7年	10.9%	12.0%
7～8年	10.3%	—
8～9年	10.3%	12.2%
9～10年	—	—

格付別組入比率

格付種類	作成期首 (2018年9月25日) 比率	作成期末 (2019年3月25日) 比率
AAA	—	—
AA	—	—
A	96.2%	95.9%
BBB	—	—
BB	—	—
B以下	—	—
無格付	—	—

債券種別組入比率

種別	作成期首 (2018年9月25日) 比率	作成期末 (2019年3月25日) 比率
国債証券	96.2%	95.9%
特殊債券	—	—
社債券	—	—
地方債証券	—	—

- ・組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・格付は、Moody'sとS&Pの格付けのうち、上位の格付けをS&Pの表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	1.046%	1.104%	1.105%	1.054%	1.047%	1.050%
当期の収益	30	30	30	33	32	25
当期の収益以外	30	29	30	26	28	34
翌期繰越分配対象額	902	874	845	819	792	763

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

<メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ停止やメキシコ国内での物価安定化の兆しなどを受けて、中央銀行であるメキシコ銀行は政策金利を引き下げる可能性があるとみており、国債利回りは低下余地を探る展開を想定しています。
- ・為替市場では、米国の政策金利の据え置きが当面見込まれる中で、相対的に高い金利水準に対する投資家需要などを背景にメキシコ・ペソは日本円に対して底堅く推移するとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ建のソブリン債券、準ソブリン債券を主要投資対象として、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行います。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざします。なお、債券の発行状況等により同額程度とならない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(8)	(0.150)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.155)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.046	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	21	0.367	
作成期中の平均基準価額は、5,642円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月26日～2019年3月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第91期～第96期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド	千口 128,089	千円 154,941	千口 86,375	千円 104,811

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月26日～2019年3月25日)

利害関係人との取引状況

<国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド>

区 分	第91期～第96期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	128	86	67.2	78	5	6.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年3月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第90期末	第96期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド	311,057	352,770	436,659

○投資信託財産の構成

(2019年3月25日現在)

項 目	第96期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド	436,659	97.4
コール・ローン等、その他	11,755	2.6
投資信託財産総額	448,414	100.0

(注) メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (431,518千円) の投資信託財産総額 (441,505千円) に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=5.75円			
----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2018年10月25日現在	2018年11月26日現在	2018年12月25日現在	2019年1月25日現在	2019年2月25日現在	2019年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	351,785,764	349,132,676	356,518,735	367,372,111	369,425,022	448,414,396
コール・ローン等	5,210,174	6,245,496	5,175,895	5,771,596	5,091,421	6,906,143
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド(評価額)	345,579,808	341,785,340	347,860,932	361,600,515	363,542,053	436,659,855
未収入金	995,782	1,101,840	3,481,908	—	791,548	4,848,398
(B) 負債	5,146,084	6,310,501	7,595,255	4,688,953	4,797,630	10,417,496
未払収益分配金	3,664,715	3,827,095	3,898,427	3,863,557	3,860,092	4,648,166
未払解約金	1,282,617	2,285,193	3,513,486	628,186	735,782	5,567,108
未払信託報酬	197,436	196,901	182,130	195,902	200,421	200,880
未払利息	9	11	9	10	9	12
その他未払費用	1,307	1,301	1,203	1,298	1,326	1,330
(C) 純資産総額(A－B)	346,639,680	342,822,175	348,923,480	362,683,158	364,627,392	437,996,900
元本	610,785,993	637,849,278	649,737,949	643,926,193	643,348,673	774,694,469
次期繰越損益金	△264,146,313	△295,027,103	△300,814,469	△281,243,035	△278,721,281	△336,697,569
(D) 受益権総口数	610,785,993口	637,849,278口	649,737,949口	643,926,193口	643,348,673口	774,694,469口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,675円	5,375円	5,370円	5,632円	5,668円	5,654円

○損益の状況

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 103	△ 78	△ 73	△ 100	△ 90	△ 70
支払利息	△ 103	△ 78	△ 73	△ 100	△ 90	△ 70
(B) 有価証券売買損益	△ 15,362,782	△ 14,704,619	3,718,162	20,712,274	6,336,202	3,659,644
売買益	257,053	128,356	3,897,216	21,004,261	6,472,338	4,014,285
売買損	△ 15,619,835	△ 14,832,975	△ 179,054	△ 291,987	△ 136,136	△ 354,641
(C) 信託報酬等	△ 198,743	△ 198,202	△ 183,333	△ 197,200	△ 201,747	△ 202,210
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 15,561,628	△ 14,902,899	3,534,756	20,514,974	6,134,365	3,457,364
(E) 前期繰越損益金	△ 14,054,788	△ 31,128,568	△ 47,011,050	△ 43,973,308	△ 25,110,033	△ 18,771,022
(F) 追加信託差損益金	△230,865,182	△245,168,541	△253,439,748	△253,921,144	△255,885,521	△316,735,745
(配当等相当額)	(56,894,565)	(57,531,447)	(56,803,163)	(54,409,443)	(52,721,838)	(61,354,709)
(売買損益相当額)	(△287,759,747)	(△302,699,988)	(△310,242,911)	(△308,330,587)	(△308,607,359)	(△378,090,454)
(G) 計 (D + E + F)	△260,481,598	△291,200,008	△296,916,042	△277,379,478	△274,861,189	△332,049,403
(H) 収益分配金	△ 3,664,715	△ 3,827,095	△ 3,898,427	△ 3,863,557	△ 3,860,092	△ 4,648,166
次期繰越損益金 (G + H)	△264,146,313	△295,027,103	△300,814,469	△281,243,035	△278,721,281	△336,697,569
追加信託差損益金	△232,697,540	△247,018,304	△255,388,962	△255,595,352	△257,686,898	△319,369,706
(配当等相当額)	(55,087,480)	(55,763,403)	(54,899,471)	(52,769,190)	(50,943,466)	(59,134,869)
(売買損益相当額)	(△287,785,020)	(△302,781,707)	(△310,288,433)	(△308,364,542)	(△308,630,364)	(△378,504,575)
分配準備積立金	56,215	11,289	44,326	51	33,449	23,567
繰越損益金	△ 31,504,988	△ 48,020,088	△ 45,469,833	△ 25,647,734	△ 21,067,832	△ 17,351,430

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 638,582,331円
 作成期中追加設定元本額 306,688,858円
 作成期中一部解約元本額 170,576,720円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5654円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は336,697,569円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日
費用控除後の配当等収益額	1,851,110円	1,932,978円	1,982,483円	2,146,488円	2,092,113円	2,007,922円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	56,919,838円	57,613,166円	56,848,685円	54,443,398円	52,744,843円	61,768,830円
分配準備積立金額	37,462円	55,643円	11,056円	42,912円	51円	29,850円
当ファンドの分配対象収益額	58,808,410円	59,601,787円	58,842,224円	56,632,798円	54,837,007円	63,806,602円
1万円当たり収益分配対象額	962円	934円	905円	879円	852円	823円
1万円当たり分配金額	60円	60円	60円	60円	60円	60円
収益分配金金額	3,664,715円	3,827,095円	3,898,427円	3,863,557円	3,860,092円	4,648,166円

○分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド

《第16期》決算日2019年3月25日

[計算期間：2018年9月26日～2019年3月25日]

「メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド」は、3月25日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソブリン債券以外への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・ 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2017年3月27日)	11,236		14.9	93.0	—	536
13期(2017年9月25日)	12,657		12.6	96.7	—	493
14期(2018年3月26日)	11,466	△	9.4	94.2	—	475
15期(2018年9月25日)	12,258		6.9	96.2	—	381
16期(2019年3月25日)	12,378		1.0	95.9	—	436

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2018年9月25日	円 12,258	—	96.2	% —
9月末	12,462	1.7	95.6	—
10月末	11,468	△6.4	95.7	—
11月末	11,377	△7.2	92.9	—
12月末	11,596	△5.4	95.7	—
2019年1月末	11,961	△2.4	94.9	—
2月末	12,299	0.3	95.0	—
(期 末) 2019年3月25日	円 12,378	1.0	95.9	% —

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

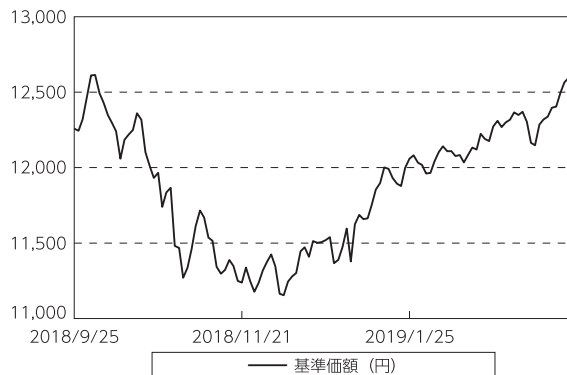
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

・メキシコの債券市場では、金利は低下しました。2018年11月にかけては、インフレ見通しの悪化などを背景に中央銀行であるメキシコ銀行が利上げを実施したことなどから、金利は上昇しました。その後は、世界景気の減速懸念等を背景に米国で政策金利引き上げが当面停止するとの観測が高まり、新興国全般に対する投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから金利は低下に転じ、期を通じてみると金利は低下しました。

◎為替市況

・メキシコ・ペソは対円で下落しました。2018年10月にかけては、ロペスオブラドル次期大統領が、国民への意見調査結果を受けて、メキシコシティ空港の代替施設の建設を中止すると発表し、今後の政策運営に対する懸念が高まったことなどから、メキシコ・ペソは対円で下落しました。その後、米国の利上げ観測の後退などを背景に投資家のリスクセンチメントが改善したことなどからメキシコ・ペソは対円で上昇に

転じたものの、期を通じてみると下落しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。以下同じ。）、準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。以下同じ。）を主要投資対象として、これらの債券を高位に組み入れ、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行いました。
 - ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざしましたが、債券の発行状況等により同額程度とならないこともありました。
 - ・前記の運用を行った結果、メキシコ・ペソが対円で下落したことが基準価額にマイナスに影響したものの、保有債券の利息収入を得られたことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ停止やメキシコ国内での物価安定化の兆しなどを受けて、中央銀行であるメキシコ銀行は政策金利を引き下げる可能性があるとみており、国債利回りは低下余地を探る展開を想定しています。
- ・為替市場では、米国の政策金利の据え置きが当面見込まれる中で、相対的に高い金利水準に対する投資家需要などを背景にメキシコ・ペソは日本円に対して底堅く推移するとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ建のソブリン債券、準ソブリン債券を主要投資対象として、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行います。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざします。なお、債券の発行状況等により同額程度とならない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 5 (5)	% 0.044 (0.044)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	5	0.044	
期中の平均基準価額は、11,877円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月26日～2019年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 28,373	千メキシコペソ 11,239 (6,600)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月26日～2019年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 128	百万円 86	% 67.2	百万円 78	百万円 5	% 6.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年3月25日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	74,040	72,824	418,741	95.9	—	36.4	35.6	23.9
合 計	74,040	72,824	418,741	95.9	—	36.4	35.6	23.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券					
	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	8,400	9,249	53,184	2024/12/5
	5 MEXICAN BONOS 191211	5.0	9,100	8,911	51,243	2019/12/11
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	10,300	9,133	52,520	2026/3/5
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	9,140	8,909	51,227	2021/6/10
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	9,600	9,257	53,228	2022/6/9
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	9,500	9,259	53,243	2027/6/3
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	9,200	9,224	53,043	2020/6/11
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	8,800	8,878	51,050	2023/12/7
合 計					418,741	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	418,741	94.8
コール・ローン等、その他	22,764	5.2
投資信託財産総額	441,505	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(431,518千円)の投資信託財産総額(441,505千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=5.75円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	441,505,784
コール・ローン等	8,227,596
公社債(評価額)	418,741,703
未収入金	6,787,291
未収利息	6,098,221
前払費用	1,650,973
(B) 負債	4,848,415
未払解約金	4,848,398
未払利息	17
(C) 純資産総額(A-B)	436,657,369
元本	352,770,929
次期繰越損益金	83,886,440
(D) 受益権総口数	352,770,929口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,378円

<注記事項>

- ①期首元本額 311,057,195円
 期中追加設定元本額 128,089,516円
 期中一部解約元本額 86,375,782円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2378円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

国際 メキシコ・ペソ債券オープン(毎月決算型) 352,770,929円

○損益の状況 (2018年9月26日～2019年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,889,071
受取利息	12,892,769
支払利息	△ 3,698
(B) 有価証券売買損益	△ 7,499,561
売買益	4,749,490
売買損	△12,249,051
(C) 保管費用等	△ 159,857
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,229,653
(E) 前期繰越損益金	70,239,803
(F) 追加信託差損益金	26,852,422
(G) 解約差損益金	△18,435,438
(H) 計(D+E+F+G)	83,886,440
次期繰越損益金(H)	83,886,440

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。